

2023年8月7日

日本糖尿病協会 会員各位

公益社団法人日本糖尿病協会
理事長 清野 裕

GLP-1 受容体作動薬の在庫逼迫に伴う各製剤の処方についてのメッセージ

日頃より糖尿病と歩む方々のよりよい生活のために日々の診療にあたっていただき、また、日本糖尿病協会の活動にご理解を賜り、ありがとうございます。

先般該当製薬会社から連絡がなされているように、世界的な GLP-1 受容体作動薬の需要拡大を理由として、日本国内においても各種製剤の在庫が逼迫しているとの報告を受けています。2 型糖尿病のある方々が安心して治療を続けることが危ぶまれている現状を深く憂慮し、遺憾に思う次第です。また各社からそれぞれメッセージが何度も発信され現場に混乱を招いていることも事実です。そこで現時点での状況についてインクレチン専門家として私なりに整理してみました。

製剤名	製造販売会社	出荷状況
トルリシティ	日本イーライリリー株式会社	限定出荷: 新規処方停止
オゼンピック 2mg	ノボ ノルディスクファーマ株式会社	限定出荷: 新規処方停止 (SD は出荷停止)
マンジャロ (GIP/GLP-1 受容体作動薬)	日本イーライリリー株式会社/ 田辺三菱製薬株式会社	限定出荷: 新規処方停止、 7.5mg 以上への増量停止
リベルサス (経口剤)	ノボ ノルディスクファーマ株式会社/MSD 株式会社	通常出荷
ビクトーザ	ノボ ノルディスクファーマ株式会社	通常出荷
リクスミア	サノフィ株式会社	通常出荷

トルリシティ・オゼンピック・マンジャロについては新規処方できない状況です。

なお、すでに上記製剤を処方中の方で、製剤特性の観点から治療上必須とされる場合には**継続処方が可能です**。製薬会社に対してはこれが維持できるよう継続供給を強く要請しており、卸各位へもこの状況を共有して頂いています。日本糖尿病協会としても、このような状況を深く憂慮するとともに、各製薬会社に安定供給の責任を果たすよう働きかけています。

会員各位にはこのような状況を踏まえて、GLP-1 受容体作動薬を適切に使用いただくようお願い致します。

(文責 清野 裕)

以上